

第6回順天堂大学47年卒業同窓会 in 島根

実施日 2023年10月7日

場所 島根「松江ニューアーバンホテル」

参加者 40名

<次第>

- 1 開会のことば 同窓会会長：木内敏夫
- 2 挨拶 特別ゲスト：澤木啓祐氏 地元OB代表：中村勝輔氏
啓友会近況報告など：濱野光之
- 3 乾杯 前回開催地代表：栃木県 柏瀬悦宣
- 4 懇親会 (参加者全員近況報告などを発表 余興：ハーモニカ演奏 福間信隆)
- 5 校歌斉唱 (伴奏：福間信隆)
- 6 万歳三唱 次回開催地：青森県 大島義晴
- 7 閉会の言葉 地元幹事：福間信隆

【報告】

友朋自遠方来 不亦楽乎 前回5回目を開催したのが2018年。栃木県で開催し、2年後2020年6回目を島根県で開催することが決まり準備をすすめていましたが、コロナ感染拡大の影響によりやむなく延期に致しましたが、いっこうに感染がおさまらずに再び延期・延期となり、やっと栃木開催から5年目の今年に島根県松江市において開催することとなり皆さんに集まって頂きました。まず島根県という地はなかなか皆さんに認知して頂けない。さらに交通網の不便な県で出かけることが困難である。そこでの開催ということ。さらに前回から5年振りですからね、中には「この同窓会を楽しみに、参加をするように準備をしていましたが3月に亡くなりました」という奥様からのお手紙を頂きました。距離・時空をかけての長い道程の同窓会で、特別ゲスト澤木啓祐先生を含め40名の参加でした。一般的にこの10月という時期は神無月と呼ばれているのですが、島根、特に出雲の地の時期10月は、「神在月」といい、日本中の神々が出雲に集まり、色々の縁組みを決めていくと言われていきます。まさにそんな地で、順天堂大学47年度卒業の新たな結束を確かめ合う同窓会を開かせて頂いたという事です。参加者の皆さんから、ホテルからの夕日がとても素晴らしい。とか町を歩いている風情がとても良く、まさに神々しさを感じたという声を聞かせていただきました。47年卒業それぞれの私と同じ啓心寮という場所からスタートし、年を重ね重ねて51年が経ちました。今まで頑張ってきた。それも当然ありますが、そこには色々目に見えない物のお陰で今まで生きてるんだということ。同じ釜の飯を食べてきた仲間。一緒に喜び、泣き、苦しんできた仲間。自愛して、元気で、お互いにこれからも「心の支え」として支え合う仲間でありたいと改めて考えさせられる同窓会であったと思います。

報告者 氏名 島根 福間信隆

